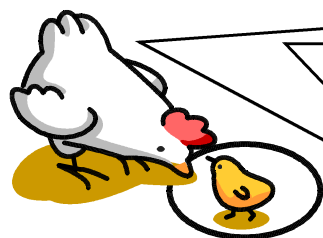


令和3年5月13日

八戸市立新井田小学校  
同 父母と教師の会



啐啄

NO.743

☎ 25-5125  
☎ 25-3150

## 宿題の大切さ

校長 成田明彦

「どうして宿題をやってこなかったの。」

時々、教室から先生の叱っている声が聞こえることがあります。

「ゲームは宿題が終わってからにしてください。」

おそらく、ご家庭でこのように声をかけたことがある方も多いのではないのでしょうか。

宿題は学校からほぼ毎日出ます。本校では10分×学年+10分の時間を目安に宿題や自主学習に取り組むように指導しています。宿題をすることが習慣化されて、あまり苦にせずに取り組むお子さんもいるでしょうし、テレビやゲーム、YouTubeなど自分のしたいことを優先して、宿題を後回しにしてしまうお子さんもいるかもしれません。

では、なぜ学校は毎日宿題を出すのでしょうか。

一番の理由は、獲得した知識の定着を図ることが目的ですが、それだけではありません。宿題をしてから遊ぶ、宿題をしてからテレビをみるといった良い生活習慣を身につけて欲しいということもありますし、我慢する心を養ったり、しなければならないことをきちんと行う責任感を培ったり、丁寧に物事に取り組む態度を育てたりする為でもあります。

低学年のうちには、まず、宿題の中身よりも良い習慣づくりに重点が置かれます。文章を正確に読み、文字を正しく丁寧に書く習慣を身につけさせたいものです。学年が上がるにつれて、決められた時間をしっかりやっていたかということだけでなく、学習の内容、言い換えると「質」の向上を求められるようになります。職人が毎日同じことを繰り返し取り組んで腕を上げるように学力も繰り返すことで高まります。しかし、完全に覚えてしまったことを繰り返しても学力向上に結びつきません。まだ定着が不十分な内容や正確さやスピードの向上を図る必要のある内容を学ぶ必要があります。

また、話を聞いたり、分からない所を教えてもらったりといった受動的な学びより、声に出して読んだり、書いたり、誰かに教えてあげたりする能動的な学びの方がはるかに教育効果は高くなります。時々、お子さんにやり方を説明させてみたり、ノートを見てがんばりを褒めてアドバイスしてあげたりすることで、理解が深まったり、やる気がアップしたりします。

宿題が終わって時間がある時は、自主学習に取り組むのもよいでしょう。自主学習には、自分に合った勉強ができるという良い点があります。得意なことを更に伸ばそうと取り組む子もいれば、苦手なことを克服しようと頑張る子もいます。理科や社会科の授業で学習したことを詳しく調べることも立派な自主学習です。自分にふさわしい学習内容を取捨選択し、進んで学ぶ自主的な態度を養うことにもつながります。

宿題でも自主学習でも、ただだらと必要以上に時間をかけてやるのではなく、集中して取り組めるようにご家庭でも応援をお願いします。



<リレーの練習>



「啐啄」(そったく)：「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、  
「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。

にいたのたより